

発行日：平成24年3月29日

## 港北区内の5団体が環境活動賞を受賞しました！

第19回横浜環境活動賞の受賞者が決定し、平成24年2月4日に表彰式が行われました。全11団体・企業のうち、港北区からはく市民の部>で3団体、<企業の部>で2団体が受賞し、合わせて5つの団体・企業が受賞しました。各団体の活動概要と区長との懇談の様子をご紹介します。

### TOPIX

## ■第19回環境活動賞受賞式

第19回横浜環境活動賞の受賞者が決定し、平成24年2月4日に表彰式が行われました。全11団体・企業のうち、港北区からはく市民の部>で3団体、<企業の部>で2団体が受賞し、合わせて5つの団体・企業が受賞しました。また、特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワークは生物多様性特別賞も併せて受賞し、<市民の部>で大賞も受賞しました。

### 1 市民の部

大賞：特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク  
実践賞：鶴見川舟運復活プロジェクト  
松の川遊歩道（緑道）の会

### 2 企業の部

実践賞：生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合  
トレッサ横浜

### 3 特別賞

生物多様性特別賞：  
特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク

※横浜環境活動賞とは…

環境保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりを進めることを目的に、地域で様々な環境保全・再生・創造の取組を積極的に行っている個人・団体、企業、児童・生徒・学生の皆さんを表彰する制度です。受賞団体については、活動概要について横浜市のホームページでご紹介するほか、受賞者の表彰式を行いました。



▲受賞団体のみなさま



▲鶴見川流域ネットワーク  
岸代表理事の受賞あいさつ

## ■区長ふれあいトーク

第19回横浜環境活動賞の受賞者を招いての区長ふれあいトークを実施しました。各団体・企業から活動内容についてお話しいただき、充実した懇談会となりました。

区長のふれあいトークの詳しい内容は後日、港北区役所のホームページに掲載されますので、ご覧ください。



▲受賞者のみなさま

## 受賞団体の紹介

### ■鶴見川流域ネットワーキング

鶴見川の水系に沿って自然や都市を学び、流域規模の市民連携をすすめる「安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくり・まちづくり」を通して持続可能な流域文化をはぐくむことを目的に活動しています。

最近の主な活動は、鶴見川流域での河川・環境学習の支援、水と緑の生物多様性・環境学習拠点の整備としてビオトープ整備や外来植物の除去を行っています。また、水系魚類調査、冬鳥調査、鶴見川流域クリーンアップ作戦を18年間継続しています。



▲小学校の河川環境学習支援の様子

### ■鶴見川舟運復活プロジェクト

鶴見川に舟運を復活させて、流域の自然や伝統文化を子どもたちや地域住民に伝えることを目的に活動しています。

鶴見川は、かつては年間約2万隻の舟運で栄え、地域住民は鶴見川を生活の一部として暮らしてきました。その中では水害などの自然災害と共存する知恵や水運を活用した地場産業の活性化などがはぐくまれてきました。いまでは都市化の進む地域の中で、貴重な自然を包括する空間になっています。

最近の主な活動は、川舟2艘を製作、講演と展示を兼ねた会の開催、川舟や河岸に関する文献調査、聞き取り、関係施設の調査、新横浜公園内での田植えと麦刈りなどを行っています。



▲復元した「たちばな」に乗って自然観察会

### ■松の川歩道(緑道)の会

日吉の原風景を残し、野生植物・小動物を復活させながら都市の中で緑をまもる。お年寄りから子どもまで安心して歩ける道をつくることを目的に活動しています。2.1km以上の「土」の道に野生植物・野生小動物を復活するという理念で30年程前から活動を続けてきました。

最近の主な活動は、週1回の緑道での自然保護活動、小学校での環境の授業や田植えの指導、植物・昆虫・鳥類の調査・撮影、松の川緑道まつりの実施、七夕まつりの開催、地元自治会の文化祭への参加などを行っています。



▲日吉・松の川緑道まつりの様子

### ■生活協同組合連合会 ユーコープ事業連合

年々深刻化する環境問題を背景として、コープは1970年代から組合員や時代の要求に沿って、先進的な取組を行ってきました。

特に、全国の生協に先駆けて始めた「お買い物袋持参運動」では、現在レジ袋削減率90%を維持しています。その他にも、精肉加工施設がある12店舗でノントレイ・袋入り販売の実施、惣菜加工施設から出る廃食油によるBDFを宅配トラック22台に使用しています。また、MSC認証を受けた水産物(5種類)の提供、2009年からコロンビア共和国産フェアトレードバナナの取扱を開始しています。



▲「石巻グリーングローブの会」を応援

### ■トレッサ横浜

トレッサ横浜は、地域から愛され地域とともに発展する施設を目指し、地域貢献の一つとしてトレッサ周辺地域のグリーン活動(月1回)を企画し、テナントや協力会社のスタッフに呼びかけ2008年8月からスタートしました。3年半で40回目を開催し、参加者数も述べ2,300人以上となっています。

その他にも、壁面緑化パネルの作成、飲食店が使用した水をバイオ浄化し、中水としてトイレに使用しています。また、地域の団体や学校へ、環境活動を中心とした発表の場を提供したりなど、地域と連携した取組も進めています。



▲地域の中学生と合同で実施



# 港北エコアクションイベントを開催しました！

平成24年2月26日（日）にトレッサ横浜で港北エコアクションイベントを開催しました。当日は1500名ほどの方々にみどりや生きものの大切さなどについての様々な体験を通して、身近な環境への興味・関心を深める機会となりました。

また、新横浜での養蜂活動の紹介や金環日食の安全な観察方法の周知なども行いました。

TOPIX

## ■木材を使ったオリジナルキーホルダー作り

（環境創造局みどりアップ推進課）

木材を使ったキーホルダーのクラフト教室を実施し、261名の子どもたちが参加しました。

横浜みどりアップ計画の3つの柱の1つ「樹林地を守る」をテーマに、横浜のみどりについて一緒に学びました。



## ■つるみ川わくわく水族館

（特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク）

鶴見川に生息する生きものたちの移動水族館を実施しました。鶴見川流域の豊かな自然を生きものを通して、多くの区民に感じてもらうことができました。ウナギやナマズ、カニ、ギンヤンマのヤゴなどの生きものに子どもから大人までが見入っていました。



## ■身近な花と緑を慈しみ育てる市民活動と 横浜開港150周年のバラ「はまみらい」の紹介 （よこはま緑の推進団体港北区連絡会）

よこはま緑の推進団体の活動紹介とよこはま緑の街づくり基金への募金活動を行いました。

募金に協力していただいた方には花苗や竹細工が贈られました。また、横浜開港150周年のバラ「はまみらい」の紹介も行いました。



## ■モバイルプラネタリウム

（株式会社東京モバイルプラネタリウム）

5月の金環日食に向けて、移動式のプラネタリウムを実施し、300名の方が観覧しました。

プラネタリウムでは街中と郊外の星の見え方の違いや港北区の星空、金環日食についての解説を行いました。

